

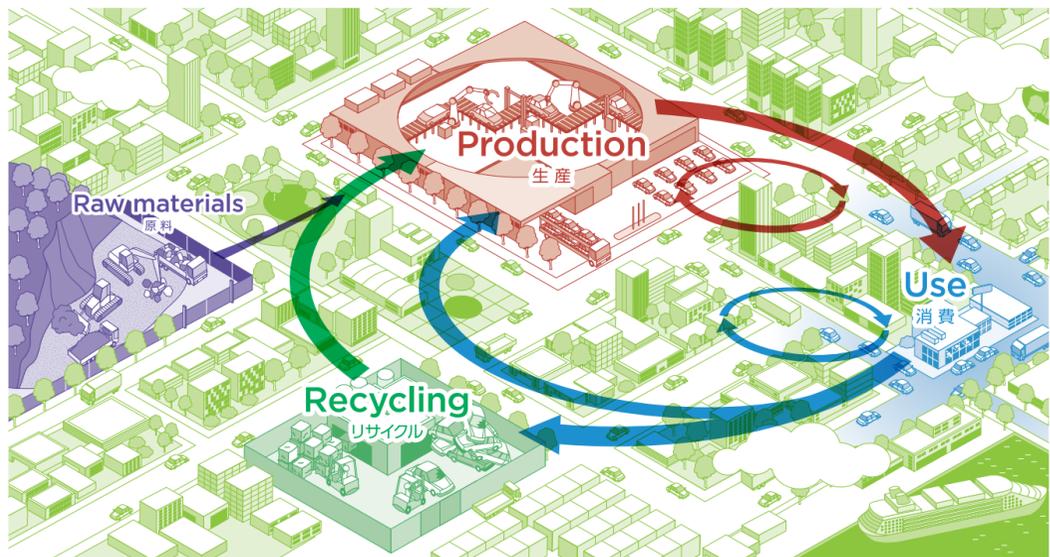
英知を集結しよう！ カーボンニュートラル、その先の循環型社会へ

脱炭素化・サステナビリティの潮流が世界的に加速する中、日本をはじめ多くの国・地域が2050年のカーボンニュートラルを目指し、対応を進めています。地球規模の難題を乗り越え、持続可能な社会にしていけるためには「共創」と「循環」がカギであると考えています。裾野が広く、与える影響も大きい自動車産業において、カーボンニュートラルを実現していくためには、「くるま」のライフサイクル全体で脱炭素に向けた取り組みが欠かせません。この取り組みに対しては、これまでのような「資源の採掘～製造～廃棄」というリニア型から、3R「リデュース・リユース・リサイクル」に代表される「循環」型の社会システムへ転換していくことが求められています。

時代の転換点とはいえ、価値観を変えていくことは並大抵ではありません。だからこそ、今まで当たり前だと思っていたことを疑い、新しい視点で物事を捉え、新しい仲間と「共創」してチャレンジすることが重要であると考えています。「人と地球を幸せにする技術とはなにか」を問い、新しい価値を共創していくためにバリューチェーンを生み出す。「くるま」に携わる全ての皆さまの英知を集結する「場」として、「人とくるまのテクノロジー展2023」にお集まり頂ければ幸いです。

循環型社会実現に向け、自動車を構成する部品(資源)もサステナブルに！

横浜では、1万点以上から構成される自動車部品(資源)のサステナブル化について紹介します。再利用するリユース、原材料まで戻すリサイクル、自動車以外の産業へ転用するリバーパスなどの資源循環技術や、バイオマス由来の再生可能資源技術を展示しています。循環型社会の実現に向けて「サステナブルな資源とはなにか?」についてのきっかけを皆さんと共に考えていく「場」の1つです。



展示協力企業・団体 (五十音記載)
株式会社エマルジョンフローテクノロジーズ/J X金属株式会社/株式会社JVCケンウッド/住友金属鉱山株式会社/トヨタ自動車株式会社/トヨタ車体株式会社/日産自動車株式会社/日立Astemo株式会社/フォアールエナジー株式会社/本田技研工業株式会社/マツダ株式会社/三井化学株式会社/三菱自動車工業株式会社/三菱商事株式会社/三菱商事エナジーソリューションズ株式会社/M I R A I - L A B O株式会社/株式会社UACJ/ユニチカ株式会社

JSAE企画展示のテーマに沿った6講演を展示会場&オンラインのハイブリッドでお届けします。
講演は 現地聴講・ライブ配信とアーカイブ配信を予定！

アーカイブ配信は5/31(水)～6/7(水)を予定しております。 ※6/8(木)～6/16(金)はJSAE会員限定で配信予定

| | | |
|--|--|---|
| 5/24 WED | 10:30～11:30 | 13:00～14:00 |
| GX時代における循環経済(サーキュラーエコノミー)について | | 資源循環の確立に向けたNEDOの取組について |
| 昨年、地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題等の深刻化や資源制約・環境制約に対応するため、世界ではサーキュラーエコノミーへの移行が急速に進んでいます。本講演では、2022年4月に施行した「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」をはじめ、我が国における資源循環経済政策の最新動向をお伝えします。 | | 循環経済の考えが浸透しつつある社会情勢において、廃プラスチックの適正な処理やアルミニウム素材の効率的な資源循環が期待されています。本講演ではNEDOでの資源循環技術開発の取組みを紹介いたします。 |
|  | 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 課長補佐(総括担当) 吉川 泰弘 氏 |  |
| | | 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境部 主任研究員 今西 大介 氏 |

| | | |
|--|---|--|
| 5/25 THU | 10:30～11:30 | 13:00～14:00 |
| カーボンニュートラル社会のエネルギーモデル | | 走るレアメタル(自動車用レアメタル)の資源供給リスクや生産に伴う環境破壊などについて |
| 地域社会のカーボンニュートラルへの移行を想定して、「地域エネルギー需給データベース」に基づく戦略づくりを考えます。エネルギー需給の現状理解から始めて、将来の電気自動車の役割と再生可能エネルギー資源の利活用について説明します。 | | 今や、自動車は走るレアメタルの塊となっています。しかし一方で、レアメタルの採掘や製造に伴い、海外では環境破壊が進んでいます。本講演では、ウクライナ危機に端を発した資源供給リスクやサプライチェーンの変化等、レアメタルの現状と課題について概説し、さらには、日本では知ることが出来ない「裏の問題」についても紹介いたします。 |
|  | 東北大学 大学院 工学研究科 技術社会システム専攻 教授 工学博士 中田 俊彦 氏 |  |
| | | 東京大学 生産技術研究所 所長・教授 岡部 徹 氏 |

| | | |
|--|---|--|
| 5/26 FRI | 10:30～11:30 | 13:00～14:00 |
| カーボンニュートラルの取組みと循環型社会へのチャレンジ | | 循環型・再生型ビジネスモデルへの進化 |
| 車両の製造段階・使用段階を含むサプライチェーン全体に渡るカーボンニュートラルの取組みを説明します。そして、各段階の取組みを循環型社会の視点で見つめ、カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーの両立のカギを探ります。 | | 当社はネイチャーポジティブに向けて、カーボンニュートラル化、サーキュラーエコノミー実現とビジネスを連動させる独自のサステナビリティビジネスモデルの構築を進めており、バリューチェーン全体を通じた取り組みの進捗を紹介いたします。 |
|  | トヨタ自動車株式会社 カーボンニュートラル先行開発センター 環境エンジニアリング部 主査 荻村 友彦 氏 |  |
| | | 株式会社ブリヂストン グローバル環境戦略推進部 部長 中島 勇介 氏 |

車両開発者がぐるまづくりにかけた熱意・思い入れを語ります。展示会場とオンラインのハイブリッドでお届けします。
講演は 現地聴講・ライブ配信とアーカイブ配信を予定！

アーカイブ配信は5/31(水)～6/7(水)を予定しております。 ※6/8(木)～6/16(金)はJSAE会員限定で配信予定

| | | | |
|---|--|--|---|
| 5/24 WED | 15:30～16:30 | 新型プリウス デザインと走りの実現に向けて |  |
|  | トヨタ自動車株式会社 TC製品企画 主査 大矢 賢樹 氏 | 今年1月に発売した新型プリウスで特に拘ってきたデザインと走りの実現に向けて、プロジェクトに関わるメンバーとどのように開発を進めて来たかを紹介します。 | |

| | | | |
|---|--|--|---|
| 5/25 THU | 15:30～16:30 | 新型セレナ・エクストレイルの魅力を生み出すe-POWERの技術 |  |
|  | 日産自動車株式会社 パワートレイン・EV技術開発本部 アライアンスPED 渋谷 彰弘 氏 | 日産独自の電動パワートレインe-POWERが第2世代に進化し、VCターボエンジンやe-POWER専用直噴エンジンとの組み合わせ、エネルギーマネジメントの進化や新たな電動4WD技術により、走り・静粛性・燃費において新たな魅力を提供します。新型セレナ・エクストレイルを中心に、その技術と想いを紹介します。 | |

| | | | |
|--|--|--|--|
| 5/26 FRI | 15:30～16:30 | 新型クロストレック・インプレッサ開発ストーリー |  |
|  | 株式会社SUBARU 商品企画本部 プロジェクトゼネラルマネジャー 毛塚 紹一郎 氏 | 新型クロストレック・インプレッサは、フルモデルチェンジを行いより多くのお客様を笑顔にするため「FUN」をキーワードに開発を進めてきました。その内容を開発ストーリーとして報告します。 | |

無料・事前予約制 現地聴講をご希望の場合は「JSAE企画講演」・「新車開発講演」共に事前予約が必要です。
※予約の変更・キャンセルは、マイページより5/23(火)までにお願いいたします。

〈関連催事〉 自動車技術会2023年春季大会は5月24日(水)～5月26日(金)現地開催をメインとし、オンラインでのライブ配信の聴講を併用して開催いたします。学術講演会(有料)の他、Keynote Address、学生ポスターセッション(現地開催のみ)などを実施いたします。

| | | | |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 5/25 THU | 要参加登録 17:00～18:00 | <h1>Keynote Address</h1> | パシフィコ横浜 <会議センター メインホール> |
|  | 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 秋元 圭吾 氏 | 2050年カーボンニュートラル実現に向けた道路交通部門の展望 | 2050年カーボンニュートラル実現に向けて、自動車は電動化、より広くCASEを含め、大きな変化に直面しています。乗用車に限らず、道路交通部門全体、エネルギー供給を含めたエネルギーシステム全体の視点から展望を語ります。 |